

人と地球への 責任を果たす企業へ

東洋建設の経営の基本は、1979年発表の経営計画で謳った「経営理念」に込められており、当社の生業である建設事業を通じて社会的な使命を果たすことです。

また、その実現に向けて役職員が指針とするものが、経営理念をもとに2005年に制定した「行動規範」です。

役職員全員が経営理念を実践すること、それが当社の持続可能な社会の実現に向けた取り組みにつながっています。

東洋建設の経営理念・行動規範



経営理念

夢と若さをもって全員一致協力し
新しい豊かな技術で
顧客と社会公共に奉仕することに努め
会社の安定成長と従業員の福祉向上を期する

(昭和54年創立50周年「50計画」において制定)

人間尊重

人を鍛える個性と長所を活かす

創意革新

変化に適応する常に新たな発想をする

責任自覚

目標と責任を明確に常に率先垂範する

行動規範

社会的使命を果たすため

- 社会の要請に適った建設活動
- 品質の確保と建設技術の向上
- 公衆災害防止の徹底と自然災害への対応

公正で信頼される事業活動のため

- 法令、規範等遵守の徹底
- 公正な入札および公正な競争の実施
- 適正な生産体制の構築
- 反社会的勢力の排除
- 企業会計の信頼性の確保と情報の開示
- 政治、行政との適正な関係の保持
- 知的財産権等の保護

人を大切にし、社会とよりよい関係であるため

- 人権と個性を尊重する経営の堅持
- 安全衛生対策の強化と魅力ある労働環境の創出
- 社会との共生
- 環境保全等への取り組み
- 国際社会への貢献

(平成17年1月制定、平成26年8月1日改訂)

7年後の
創立100周年の
目指すべき姿に向けて

Being
a resilient company

の実現へ

ぶれない基軸を持ち、
刻々と変化する環境にフレキシブルに対応し、
厳しい逆境にも立ち向かうことができる
持続可能な企業を目指します。